

災害拠点病院の新規指定について

横須賀市立うわまち病院（災害協力病院・DMAT-L 指定病院）から、令和7年3月1日の移転※等に伴い、災害拠点病院の指定申し出があったため、次のとおり検討する。

※移転後の病院の新名称：横須賀市立総合医療センター

1 病院からの指定申し出の理由（詳細は横須賀市作成の別添資料参照）

- ・ 移転に伴い、災害に強い安心で安全な病院を基本方針に定めて整備した。
- ・ 横須賀市南東部及び三浦市の拠点となることで、横須賀共済病院、湘南鎌倉総合病院、横須賀市立市民病院と合わせ、医療圏全域をカバーできる。

（参考）横須賀・三浦エリアの各病院位置図



2 これまでの経緯

- ・ 令和6年7月 横須賀市から災害拠点病院指定に関する相談
- ・ 令和6年12月 横須賀市及び横須賀市立うわまち病院から、詳細についてヒアリング
- ・ 令和7年2月 横須賀・三浦地域災害医療対策会議にて、横須賀市から災害拠点病院指定について地域の関係者に説明し、合意を得る

3 県所管課としての意見

- ・ 能登半島地震で生じたように、交通インフラの分断等によって半島部が孤立するおそれがある三浦半島エリアにおいて、地域をカバーし、災害対応の中心を担うことができる災害拠点病院を設置することは非常に重要である。
- ・ 一方で、機能移譲も公表されている横須賀市立市民病院については、DMAT隊員の維持確保や急性期対応の病床減など懸念事項もあるため、災害拠点病院の指定継続に向け、中長期的に状況を注視する必要がある。

4 災害医療コーディネーターからの意見聴取

- ・ 令和7年2月25日に行った災害医療コーディネーター会議での協議結果は以下のとおり
- ・ 横須賀市立総合医療センターを災害拠点病院として新規指定することについては賛成。
- ・ ただし、施設のハード面では要件を満たしており指定に係る懸念はないが、ソフト面、特に継続してDMAT等の人材確保ができるかといった点については指定後も中長期的にチェックが必要と

思われる。

- ・ また、既に指定されている横須賀市立市民病院も含めて、災害拠点病院としての機能を発揮していけるのか、評価制度などを活用し、継続的に確認していく必要がある。

5 方針（案）

- ・ 横須賀市立総合医療センターは新たに災害拠点病院に指定することとし、医療審議会へ上申する。
- ・ なお、横須賀・三浦エリアにおいては、災害拠点病院の評価制度（令和6年度調査から正式に運用）等の結果も踏まえながら、横須賀市立の2病院が災害拠点病院やDMAT指定病院として十分に機能を維持しているかについて中長期的に注視するものとする。

6 指定までの想定スケジュール（案）

- 令和7年3月1日 新病院へ移転
- 3月11日 神奈川県災害医療対策会議で指定する方針を提案、承認を得る
- 10月～ 神奈川県医療審議会への上申、条件付き承認を得る
- 11月～ 日本DMAT隊員養成研修への参加、隊員養成
指定要件を満たした後、指定通知の送付及びDMATの派遣に係る協定締結

【参考】災害拠点病院及び災害協力病院の指定状況（令和7年2月時点）

エリア	災害拠点病院	災害協力病院
横浜北部	5 病院	7 病院
横浜西部	3 病院	10 病院
横浜南部	5 病院	1 病院
川崎北部	3 病院	3 病院
川崎南部	4 病院	5 病院
相 模 原	3 病院	1 病院
横須賀三浦	3 病院 ・ 横須賀共済病院 ・ 横須賀市立市民病院 ・ 湘南鎌倉総合病院	1 病院 ・ 横須賀市立うわまち病院
湘南東部	2 病院	8 病院
湘南西部	3 病院	1 病院
県 央	2 病院	6 病院
県 西	2 病院	2 病院
合 計	35 病院	45 病院